

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日：2016年 3月 22日

| | | |
|----------------------------|---|---|
| <p>テーマ名</p> | <p>オープンデータ活用に関する研究 ～ ITコーディネータにとってのオープンデータビジネスの可能性(応用編) ～</p> | |
| <p>届出組織等名称</p> | <p>企業内ITコーディネータ・ITガバナンス研究会</p> | |
| <p>成果物公開URL</p> | <p></p> | |
| <p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p> | <p>(代表者氏名) 古川 正紀 電話番号: 03-5341-4890 e-mail: furukawa@astop-si.co.jp</p> | <p>(担当者氏名) 同左 電話番号: e-mail:</p> |
| <p>研究・調査 成果概要</p> | <p>オープンデータとは、「自由に使えて再利用もでき、かつ誰でも再配布できるようなデータ」を指します。 近年公共データの活用促進、すなわち「オープンデータ」の推進により、行政の透明性・信頼性などが高まることが期待され、更には「オープンデータ」の活用による、革新的事業の創生、地方の活性化などが期待されています。</p> <p>昨年私達ITガバナンス研究会では、このオープンデータに対して、行政機関が保有するデータの公開にフォーカスして論述する。 また、昨年は「入門編」と位置付け、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どこに、どの様なオープンデータが、どの様な形で格納されており、 ・ どうすれば、それらを取り出すことが出来て、 ・ どの様な活用が可能か… <p>の観点から、ITコーディネータとして、どのような活用局面があるだろうかを、事例を挙げて論述した。</p> <p>本年度はこれを一步踏み込み、ITコーディネータとしてオープンデータをどのように活用してゆくべきかについて論述する。</p> | |
| <p>成果物</p> | <p>章立ては、 1章はじめに 2章オープンデータに関する日本の動向とITCの取り組み 3章オープンデータを抽出するためのノウハウ 4章オープンデータを分析・活用するためのノウハウ 5章まとめ</p> <p>とし、本年度は実務に役立つ「応用編」になっています。</p> | |

| | |
|---------------|------------------|
| <p>事務局受付日</p> | <p>2016/3/22</p> |
| <p>案件番号</p> | <p>S15003</p> |